

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連		衣料品専門店（経営者）	・秋冬物の準備などで、消費意識は今より高まるとみている。
		乗用車販売店（経営者）	・新型車が来月に発表されるため、販売量の増加が期待できる。
(東北)		百貨店（総務担当）	・今まで買い控えていた客から、これから多少は買いたいものを買うとの声を聞いている。
		百貨店（営業担当）	・高額商材の好調は今後も継続するとみている。前年からギフトが回復傾向にあり、今年のお中元商戦も前年を上回っていることから、お歳暮も前年を上回ることが期待できる。婦人服の回復の動きが継続すれば、更に売上を伸ばすことも可能である。
		百貨店（経営者）	・今年の夏は気温が低い日が続いたことから、秋物の衣料品の動きが早まっており、例年よりも活発に動いていくとみている。ただし、食料品については低温、日照不足などによる品不足から、一部生鮮品の価格が上昇する見込みであり、先行きの景気にどのように影響するかが不安材料である。
		コンビニ（エリア担当）	・気温の上昇により6～7月は買上点数が増加している。この先例年どおりの天候であれば、景気の回復が見込めるのではないかと。
		衣料品専門店（経営者）	・単価の高い秋冬物が動く時期になるため、期待している。
		衣料品専門店（店長）	・夏の天候不順で客は秋の訪れを心待ちにしている。衣替えなどもスムーズに移行し、秋物需要が早まるのではないかと。
		衣料品専門店（店長）	・今後も天候に左右はされるが、客単価が上昇傾向にあり、少しずつ景気回復の兆候が表れている。
		家電量販店（店長）	・冷夏の影響により季節商材の売上は減少したものの、AV機器、冷蔵庫、洗濯機は順調に推移している。今後はオリンピック需要が見込まれるため、徐々に盛り上がりを見込んでいる。
		乗用車販売店（経営者）	・今年は、2年に1度の世界的な自動車展示会が開催されるため、期待をしている。
		乗用車販売店（経営者）	・軽自動車の人気車種のモデルチェンジが予定されているため、大いに期待している。
		乗用車販売店（従業員）	・この先は新型車の発表が予定されており、期待している。
		住関連専門店（経営者）	・受注残があるため、この先2～3か月の納品に関しては前年を上回っている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・将来的な景気には多少の不透明感はあるものの、地元駅周辺の集客力にはまだまだ大きな可能性を見込んでいる。
		一般レストラン（経営者）	・ある程度まとまった予約があるため、2～3か月先の景気は今年よりは良くなる見込みである。ただし、前年と比較して上回るかは不透明である。
		一般レストラン（経営者）	・8月は営業日数が少なく売上が落ちるが、9～10月は来客数が増える傾向にあるため、売上の向上に期待が持てる。
		観光型旅館（スタッフ）	・秋の行楽シーズンと農繁期が被っているものの、先行予約は好調である。
		都市型ホテル（スタッフ）	・ねりんピックがある9月以降も、付随するイベントが11月まで多数予定されている。秋口は例年落ち込む時期であるが、今年に限ってはと見込んでいる。
		通信会社（営業担当）	・低価格のメニューを中心に販売数が若干伸びてきている。今後は強力な加入促進キャンペーンを予定しているため、数字の上乗せが期待できる。
		競艇場（職員）	・大きな金額を投入する客が、今月はまだ来ていない。この客が再び来場すれば、売上も変わっていく。また、8月にある大きなイベントの来場促進効果で、来客数も今よりは良くなると見込んでいる。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・この先懸念材料は特にない。
	住宅販売会社（経営者）	・宅地の販売が進んでおり、新築物件の受注につながっている。	
	商店街（代表者）	・良い天候が続く見込みであり、商店街の通行量や来客数は増えていくとみている。ただし、落ち込んでいる客単価が改善しない限り、売上が伸びない状況が続くのではないかと。	
	商店街（代表者）	・北朝鮮のミサイル問題など、社会経済情勢が不安定であり、景気に明るい兆しが見られない。	

一般小売店〔書籍〕 (経営者)	・ 購買方法の多チャネル化は一層進むとみている。また、客はポイント使用などにより、家計の負担低減を図っているため、地元の店で購入する必要性が薄れてきている。そのため地元の経済は更に厳しくなるのではない。
一般小売店〔医薬品〕 (経営者)	・ 客からは買い渋る様子はみられていない。そのため、これ以上に上向き要素はないものの、現在の良い状況が継続するとみている。
一般小売店〔寝具〕 (経営者)	・ 依然として顧客の買い控えが続いている。顧客が何を求めているのかについて、深く研究する必要がある。
百貨店(売場主任)	・ トレンドや気温の変化に左右されず、自分のライフスタイルやタイミングに合わせて購入する客が多くなっている。そのため、洋品や雑貨関連商品はどんなに季節感やトレンドを提案しても売上に結び付けることが難しくなっている。
百貨店(企画担当)	・ 8月単月の売上は上向きであるものの、一部天候による影響がみられている。したがって、この先横ばいで推移するとみている。
百貨店(営業担当)	・ 個人所得の向上に期待が持てず、消費が大きく拡大するような起爆剤もないため、景気が上向くことは期待できない。
百貨店(買付担当)	・ 景気の回復につながるような材料がない。また、以前より天候に左右されることが多くなっているため、この先は天候次第なところがある。
百貨店(売場担当)	・ 景気の基調が変わらないため、急激な天候の変化などがない限り、売上や来客数の大幅な増加は期待できない。実店舗の存続は本当に厳しく、サービスを売りとする百貨店の今後の課題は多い。
スーパー(経営者)	・ 景気が急に悪くなるとは考えにくい、一方で大きく改善する気配もない。
スーパー(経営者)	・ 9月の消費動向において特に注視することもないため、現状維持が続くとみている。
スーパー(店長)	・ 若干ではあるが来客数の減少が続いている。安価な商品に動きはみられるものの、相変わらずの節約志向であり、今後も同じような傾向が続くとみている。
スーパー(店長)	・ 競合店の出店の影響もあり、来客数の減少傾向は今後も続くともみている。
スーパー(総務担当)	・ 米国と北朝鮮の緊張状態は当初よりは幾分緩和されているが、油断はできない。景気は当面現状維持で推移するとみている。
スーパー(営業担当)	・ 来客数の動きはいいではあるが、客は節約志向が強く無駄な買物をしないため、買上点数が厳しい。今後の景気もあまり変わらないとみている。
コンビニ(経営者)	・ 飲み物を求める来客数が伸びなかった問題はあるものの、その外の商品の販売単価、買上点数は堅調なため、この先も底堅く推移するとみている。
コンビニ(エリア担当)	・ 大きな外部環境の変化がない。
コンビニ(エリア担当)	・ 買上単価や買上点数が増える見込みがない。客のニーズにこたえずに本来の売れ筋を見失っているのではないかと。購買層にとって、物足りなく魅力的ではない店舗になっているようにも見受けられる。
コンビニ(エリア担当)	・ 外的環境に変化はなく、競合店も増えていることから、景気が上向き見込みはない。
衣料品専門店(経営者)	・ 来客数、単価共に前年割れが続いている。先行きが上向きになるような要因も見当たらないため、今後もこの状況が続くとみている。
衣料品専門店(経営者)	・ 8月は天候に恵まれており、このまま台風などの被害がなければ豊作が見込まれる。農家の収入が増えて売上増加に結びつくことを期待している。
衣料品専門店(総務担当)	・ 客の動向をみても、この先景気が上向いていくとは考えにくい。
家電量販店(店長)	・ 来客数及び売上が改善しているものの、一時的なものであり、この先景気が回復するという期待が持てない。
乗用車販売店(従業員)	・ 新規の来客数が少ない状態は今後も続くともみている。
乗用車販売店(店長)	・ 9月は半期決算月のため販売量の増加が見込まれるものの、その後は例年どおりとみている。
住関連専門店(経営者)	・ 仏具類の販売量は、比較的大きな波のない業界であるが、近年は大型販売店の出店により競争が激化しつつあるため、先の見通しを立てるのが難しい。
その他専門店〔酒〕 (経営者)	・ 今のところ景気が大きく動くような要因は見当たらない。ただし、この先10月以降は日本酒の繁忙期に入るため、売上増を目指していきたい。

その他専門店〔靴〕 (従業員)	・今後も、極端な天候の変化に景気が大きく左右されるとみている。
その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕(営業担当)	・例年、秋口にかけての景気はあまり良くない傾向にある。この先防寒着にも期待が持てず、消費マインドが変わる何らかのきっかけが欲しいところである。また、北朝鮮のミサイル問題においても、もし有事が発生した場合にどうなるのか心配である。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕(営業担当)	・11月中旬までは暖房用の灯油需要がないため、例年どおり低調に推移するとみている。軽油に関して、特に大きな需要の予定はなく減少傾向が続く見込みであり、良くて現状維持が続くとみている。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕(営業担当)	・天候要因による低迷が長く続くことはないともみているが、良くなる要因も見当たらない。
高級レストラン(支配人)	・景気が上向き要因が見当たらない。
一般レストラン(経営者)	・北朝鮮問題などの世界情勢不安はあるが、企業の業績は良いと聞いている。景気の状態としてはあまり変わらないのではないかとみている。
一般レストラン(経営者)	・今月はたまたま良かったが、この先はイベントの予定もないため、来月からはまた良くない状態が続くとみている。
スナック(経営者)	・近年、団体で動くことが少なくなってきており、まとまった売上が確保できない状況が続いている。そのため、歓送迎会などのイベントがない限り、売上に期待できない。
観光型ホテル(経営者)	・先行きの予約状況を見る限り、景気は変わらないともみている。
観光型旅館(経営者)	・予約のタイミングが例年よりも遅いことが気になるが、この先は行楽シーズンであり、特に悪くなる要因もないため、例年並みで推移するとみている。
都市型ホテル(スタッフ)	・この先に市長選挙を控えているが、選挙前は宴会などを控える傾向にある。また、サービス業全般にいえることだが、スタッフの退職などに伴う人手不足、特に調理師不足が深刻化している。
旅行代理店(店長)	・国内、海外共に秋の行楽シーズンとなるが、予約が入っていない。ましてや問い合わせすらない状況となっている。
旅行代理店(従業員)	・欧州や北朝鮮などの情勢不安が払拭しない限り、海外旅行に対する様子見が続くとみている。
通信会社(営業担当)	・景気が良くなるような要因が見当たらない。そのため、当面の景気向上は期待できない。
通信会社(営業担当)	・景気が好転又は悪化するような要因が見当たらない。
通信会社(営業担当)	・新製品が売れない。地方には景気が回復している実感が無い。
テーマパーク(職員)	・夏休み時期で来客数は増加したものの、予算目標には達成しておらず、今後の増加も見込めない。
観光名所(職員)	・この先の天候の傾向が読めれば、人の動きの予測や販売品目の対策がとれるのだが、はっきりしない天候のため、先行きは不透明である。
美容室(経営者)	・こここのところ前年比の動きに変化がなく、今後も変わるような要因も見当たらない。
その他住宅〔リフォーム〕(従業員)	・顧客まわりをしているが、リフォームに回すお金の余裕はないという声を多く聞いている。
商店街(代表者)	・資本の大きな企業の業績は安定している様子であるが、それ以外の企業の動きが非常に悪いともみている。
商店街(代表者)	・当地域は天候に影響されやすい産業が多く、多くの客の購買行動に影響がでるとみている。
商店街(代表者)	・現在の経済状況から年末へ向けて期待が持てない。
一般小売店〔医薬品〕(経営者)	・この先には大きな選挙が控えている。また、北朝鮮のミサイル問題などにより、消費者はゆとりのない心理状態に陥っているため、生活を楽しむような雰囲気は薄れている。
一般小売店〔酒〕(経営者)	・この先景気が一層厳しくなるなか、商品が動かなくなる時期となるため、不安しかない。酒税法が改正されたが、本当に苦境に立つ町の酒屋を保護するものなのか、疑問である。
スーパー(店長)	・競合店の出店や改装により、厳しい状況は続く。また、消費の節約志向も更に高まり、必要な物しか買わない傾向が続くとみている。
コンビニ(経営者)	・最低賃金の引上げにより経費負担が増えるため、経営的に苦しくなるとみている。
コンビニ(店長)	・市長が交代したことにより、行政の動きが若干停滞している。また、いまだに雨が多いため、来月も厳しいのではないかとみている。

	コンビニ（店長）	・夏以降は、気温と比例して売上も徐々に減少していく。さらに、近隣に競合店が増えているため、秋冬は厳しい季節になるとみている。
	衣料品専門店（店長）	・夏場の日照不足の影響で農作物の不作を懸念している。農家の収入が減少し、冬の商戦時にあまりお金を使わなくなるのではないかとみている。
	家電量販店（従業員）	・景気が上向くようなニュースもなく、先行き不安定な状況が続いている。このような状況では客の財布のひもも固くなってしまっている。
	乗用車販売店（経営者）	・市場の縮小と、人手不足による雇用のひっ迫が懸念される。
	住関連専門店（経営者）	・2～3か月先も特段景気が良くなる要因はない。
	一般レストラン（経営者）	・稲刈りや果樹の収穫には日数がかかり体力も消耗するため、その期間の外食は控えられられる傾向にあり、年末までこの状態が続く。当エリアにおける農家の影響力の大きさを実感している。
	都市型ホテル（スタッフ）	・相変わらず先の予約の動きが鈍いが、改善するべき要因が見当たらない。
	都市型ホテル（スタッフ）	・夏の動きが良かったため、その反動減を危惧している。
	旅行代理店（経営者）	・テロなどにより、海外旅行が手控えられることを懸念している。また、北朝鮮のミサイル問題においても、グアム方面の教育旅行や家族旅行がキャンセルされている。このことからこの先予断を許さない状況であり、この状態が長引けば景気はやや悪くなるのではないかとみている。
	通信会社（営業担当）	・天候不順と異常気象により農産物と水産物に影響が出ており、物価の上昇が見込まれる。小売業の利益率の低迷は賃金に影響するため、消費の低迷が続くのではないかとみている。
	遊園地（経営者）	・秋の行楽シーズンに期待しているが、北朝鮮のミサイル問題もあり、心理的に消費を控える懸念がある。
×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・6月から続く来客数減少の状況は、リーマンショックを連想させる。株価も足踏み状態であり、政治も混乱が続いていることから力強い経済対策が出てくるとは考えにくい。少なくとも本店において、業容の拡大、展開を前向きに考える状況ではない。しばらく様子を見て判断したい。
×	スーパー（経営者）	・同業種の出店のみならず異業種の出店があり、オーバーストア状態が続いている。また、消費者の可処分所得が減少している。
×	スーパー（店長）	・3か月前と比較しても、売上は悪化の一途をたどっている。そのため、この先も景気が上向きになることは期待できない。
×	スーパー（営業担当）	・複数の地域において競合店の出店が予定されており、来客数の減少は今後も続くともみている。販促策を強化しても来客数の減少をカバーしきれない現状において、今後ますます狭くなる商圏や、異業種間競争、ネット販売など、小売業の環境は厳しい状況となる。
×	コンビニ（経営者）	・なかなか天候が良くなる材料がなく、非常に困っている。ほんの少しのきっかけがあればと思うがそれもないため、今の悪い状態が続くのではないかとみている。
×	衣料品専門店（店長）	・地元の特定大規模建築物に該当する百貨店が閉店することになった。理由の一つとして、国の耐震基準を満たすことができず、耐震補強工事の目途が立たないことがあげられる。昨今の地方経済低迷のなか、莫大な耐震補強費用は地方企業において実現不可能な金額である。補助金があるとはいえ期限もあり、企業は身売りが事業終了を迫られ、地方の荒廃に拍車をかけている。今後も該当する地域は多くあり、実際に同様の問題に直面している企業は数多く存在している。実質的な補助負担割合の増額と、補助期間の延長が急務であり不可欠である。
×	高級レストラン（経営者）	・景気が良くなる材料がなく、非常に困っている。ほんの少しのきっかけがあればと思うがそれもないため、今の悪い状態が続くのではないかとみている。
企業動向関連 (東北)	-	-
	食料品製造業（営業担当）	・6～7月は小売価格が上昇した影響を大きく受けたが、今後は徐々に緩和していくとみている。
	食料品製造業（総務担当）	・長雨の影響で来客数が減少し売上は伸び悩んでいるが、今後は秋の行楽シーズンを迎えるため、来客数も増えるの見込んでいる。
	金属製品製造業（経営者）	・急ぎの案件が増えている。今までの経験から、このような状況は上向きになる前段階と判断している。

電気機械器具製造業（企画担当）	・ 順調な新製品開発は今後も継続する見通しであり、それを 実現するため設備投資も積極的に進められるとみている。
その他非製造業〔飲食 料品卸売業〕（経営 者）	・ 7～8月は天候不順であったが、この先は天候も回復して 観光シーズンに突入するため、良くなるとみている。
食料品製造業（経営 者）	・ イベントがあれば人が動くため売上も良くなるだろうが、 この先特にそのような予定はない。
木材木製品製造業（経 営者）	・ 収益性が改善しない状態が続くとみている。
出版・印刷・同関連産 業（経営者）	・ 印刷業界は、震災特需の終了といった要因のほかにもイン ターネット印刷や紙離れなど、阻害要因が多く業態変革が求 められている。そのため、それができない企業は淘汰されて いくとみている。
一般機械器具製造業 （経営者）	・ 国内受注は堅調に推移しているが、海外需要に強さがない ことに加え、為替が円高傾向にあるため、輸出採算が悪化す る可能性がある。
電気機械器具製造業 （営業担当）	・ 景気自体はすぐには変わらないが、人手不足が深刻な状況に なっている。募集をしても応募がないという企業も少なく ない。企業として伸びる可能性があっても、人手不足により規 模の拡大ができない状態が続くことで、将来の成長に影響が 出ることを危惧している。
建設業（経営者）	・ 受注量は現在の状態が継続するとみているが、これからは 人手不足、コスト面を重視していく必要がある。
建設業（従業員）	・ 公共工事の発注時期が平準化されているため、現状維持が 続くとみている。
建設業（企画担当）	・ 工事受注額は当初の見込み通りであるため、これから2～ 3か月は現状のままで推移するとみている。
輸送業（経営者）	・ 景気が悪くなるような要因はないが、良くなるという状況 にもない。
通信業（営業担当）	・ 落札できなかった案件について、よく分析して次回に備え ることも必要であるが、採算性を考慮してある程度割り切る ことも必要である。
金融業（営業担当）	・ 特に大きな変化要因がない。
金融業（広報担当）	・ 地元の経済マインドは緩やかな回復基調にあるものの、特 に小売業などは夏祭りやお盆を過ぎてからの消費の服感が 否めない。また、夏場の天候不順が一次産業に与える影響も 現時点では読めない。
広告代理店（経営者）	・ 現時点でコンペが少ないため、この先も良い方向に進むと は考えにくい。ただし、インバウンド関係の仕事は微増して いる。
広告代理店（経営者）	・ 経済活動が縮小しているというほどではないものの、受発 注量や得意先の動きが伸び悩み気味である。また、天候不順 や北朝鮮の動きなど、周辺環境のマイナス要素が目立ってい る。
司法書士	・ 不動産業者による分譲予定地の仕入が散見されるよう になったが、エンドユーザーには割安感のある物件のみが販売 されている様子である。
公認会計士	・ 建設関係企業では、秋ごろまでの受注はあるものの、それ 以降の見通しはまだわからないとの話を聞く。ただし、少な くとも秋ごろまでは建設関係が景気を支えるとみている。
コピーサービス業（従 業員）	・ 秋口に新製品発表会などが始まるため、それまでは各メー カー共に大きな動きはないとみている。
その他非製造業〔飲食 料品卸売業〕（経営 者）	・ 前年と比較しても落ち込みは同程度であり、全く浮上して いない。今後もこのような状況が継続するとみている。
その他企業〔企画業〕 （経営者）	・ 報道では復興が進んでいるといわれているが、被災地を 回って地元の話を見ると、ほとんどの業種でそのような実感 は得られていない様子であり、この先取り残される懸念があ る。
金属工業協同組合（職 員）	・ 数か月前に比べて受注量は増加傾向にあるものの、これ以 上の好材料はみつからない。そのため、現状維持が続くとみ ている。
農林水産業（従業者）	・ 8月に入ってからの長雨の影響で晩成種のももの品質が落 ち、販売単価に影響することを懸念している。
農林水産業（従業者）	・ 天候不順が米やその他の農作物の収量に悪影響を及ぼすこ とを懸念している。
食料品製造業（経営 者）	・ 本来の景気回復は実感できていない。また、この先に大き なイベントの開催予定がない。
繊維工業（経営者）	・ 雨天が続く、店頭の上売が大変悪い状態が続くことを懸念 している。

	出版・印刷・同関連産業（経理担当）	・前年と比較して受注残高が5%減少している。復興需要がほぼ一段落したためであり、今後の景気はやや悪くなるとみている。	
	窯業・土石製品製造業（役員）	・現在需要のある地区の工事は終息に向かっていている。さらに、この先は大型のプロジェクトもない。	
	広告業協会（役員）	・9月以降は、イベントなどによりテレビ関係は前年並みに回復するとみているが、新聞、折込広告などは依然として厳しい状況が続く見込みである。	
	経営コンサルタント	・悪天候が農産物の収穫に影響することを懸念している。	
	x 通信業（営業担当）	・景気を改善させるような政策が打ち出されていない。	
雇用 関連 (東北)	-	-	
	人材派遣会社（社員）	・国内製造拠点を東北に集約する計画や、事業移管に伴う増産など、東北に製造拠点としての拡大の動きがみられている。そのため、人材の確保に向けて活発な動きがでると見込んでいる。	
	人材派遣会社（社員）	・来月上旬から下期に向けた動きが活性化することが見込まれている。	
	民間職業紹介機関（職員）	・求人数が増加している。ただし、製造業に対する応募者が特に少なく苦労している。	
	人材派遣会社（社員）	・建設業や建設資材を扱っている企業では、先行きの受注量が減ってきている。現在の好景気はしばらく続くとみているが、これ以上は上向くことはないともみている。	
	人材派遣会社（社員）	・求人とのミスマッチは今後も継続するとみている。	
	人材派遣会社（社員）	・採用意欲を上げる材料に乏しい。	
	職業安定所（職員）	・当面の間は現状維持で推移するとみている。	
	職業安定所（職員）	・製造業の新規求人数は増加傾向にあるものの、小売業、宿泊業・飲食サービスでは求人更新などの動きが続いている。一方、正社員求人は増加傾向にあるとはいえない。	
	職業安定所（職員）	・求職者、求人者の動きに変化がなく、現状維持が続くとみている。グループ単位～企業全体で会合などを行うところが増えてきているとの話もあり、企業も安定した状態にある。	
	職業安定所（職員）	・求人状況の改善のために相談をする企業は少ない。求職者においても、在職中に求職活動をしており今よりも良い条件を探しているが、なかなか思うようにいかない様子である。このような状況は今後も継続するとみている。	
	職業安定所（職員）	・求人者の採用意欲は依然として高いが、人手不足から人員確保がままならず、企業活動への影響も懸念される。	
	職業安定所（職員）	・有効求人倍率は5～7月にかけて上昇を続けているが、今後の大幅な改善は見込めない。	
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・採用計画において、増員や新規採用を実施する企業は少なく、年度当初から大きな変化はみられない。	
	人材派遣会社（社員）	・大口受託業務の収益改善の見込みは不透明であり、2～3か月先も変化は見込めない。そのため、営業利益が前年を大きく下回るとみている。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・長雨による日照不足は、3か月後の農家の収穫に確実に影響を与える。地元は農家を中心に経済が回る部分があるため、先行きは非常に不安定である。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・日照不足と低温の影響で、米など様々な農作物の生育に影響が出るとみている。	
	職業安定所（職員）	・時計工場の人員削減はある程度の規模になる見込みである。また、街なかでは飲食店の閉店などが散見されている。	
	x	アウトソーシング企業（社員）	・自治体からの受注金額が上がらない。